

母親委員会だより

ごあいさつ

委員長 高見 佳澄

山形県PTA連合会母親委員会の活動に、ご理解、ご協力いただきありがとうございます。また、各郡・市PTAの母親委員会におかれましても、活発に活動していただき感謝申し上げます。

今年度も「いのちの尊さ大切さ」のテーマのもと、子どもたちの様子や、各郡・市PTAの母親委員会の活動について情報交換を行いました。また、地元山形県で開催した第51回日本PTA東北ブロック研究大会南陽・東置賜大会に視察研修という形で参加させていただき、学び得た情報を共有し更なる気づきを得ることができました。

昨年度話し合った母親委員会の存在意義や必要性を、新たな趣旨・会則として整え母親委員会をスタートしたところです。男女平等がさげばれ、母親委員会は時代遅れではないかとの意見もありますが、山形県はまだまだお父さん方がPTAで活躍してくださる県です。そのため、母親委員会を、子どもにとって一番身近な存在である「お母さんの想い」を聞くことができる大切な場と捉え、母親同士のネットワークの素晴らしさや母親としての細やかな心づかいなどの利点を生かし、父親のみならず子育てに関わる方々と「子どもたちの為に何ができるのか」共に考え、活動に繋げていきたいと思ひます。

どんなに時代が変わろうとも、子どもに必要なのは、私たちの無償の愛とスキンシップということに変わりはないと思ひます。また、子どもたちの抱えている課題を解決するには、親同士のつながりが重要だと思ひます。子どもとの「かわり」と親同士の「つながり」を大切にしながら、母親委員会は活動してまいりたいと思ひます。

各地区の活動報告

《山形市》

- ・テーマ「いのちの尊さ大切さ」
～かかわる喜びつながる心～に沿った内容で活動
- ・定例母親委員会 3回（活動方針・情報交換）
- ・拡大母親委員会 1回
研修：「いのちの大切さ学習会」（県P親学補助事業利用）
講師：田澤雄作 氏（NPO法人ワンダーポケット理事長）
- ・“親学”家庭教育視察研修（山形県立図書館視察）
- ・母親委員会だより「マザーズねっとわーく」No.24 発行

《東田川郡》

- ・定例母親委員会 2回
- ＊活動報告
- ＊情報交換等



【令和元年度 母親委員会】

《米沢市》

- ・定例母親委員会 2回
（情報交換）

《東置賜地区》

- ・地区P代表母親委員 1名が
県P母親委員会に出席しています。

《酒田飽海》

- ・母親委員会（情報交換・講演会）
講演：「家族みんなで楽しむ家読」
講師：本間俊美 氏
（読書アドバイザー）
- ・酒田飽海PTA研修大会への協力

《鶴岡市》

- ・母親委員会 1回
（協議・情報交換）
- ・鶴岡市P連研修大会・教育懇談会への参加

《西村山》

- ・定例母親委員会 3回
（協議・研修・懇親会）
- ・代表委員会 2回
（企画・運営）

《西置賜地区》

- ・地区母親委員会 1回
- ・「母親委員会だより」発行
- ・地区P交流会参加協力

《最上地区》

- ・地区母親委員会 1回（講演・演習）
- ・代表母親委員会研修及び情報交換会 2回
- ・母親委員会だより「かあちゃんほっとらいん」2月発行

《上山市》

- ・母親委員会 1回（情報交換等）
- ・母親委員会主催研修会 1回
講師：後藤敬子 氏（酒田市健康課助産師）
※台風のため中止
（各校で「おさがり会」の実施や「ノーマディア」「アウトメディア」の取組を行っている）

《天童・東村山地区》

- ・母親委員会総会
- ・母の集い（10/12）
講演：「ゲーム・ネットの時間はどうしたら減らせるか」
講師：杉山宏行 氏（消費者市民の道しるべ実行委員会会長）
- ・「母親委員会だより」発行

《北村山》

- 北村山研究大会への協力 ※市・町Pごとの活動あり
- ・村山市P：読み聞かせ/おたより発行
- ・尾花沢市P：委員会/おたより発行
- ・大石田町P：母親交流会/制服リサイクル/読み聞かせ/おたより「母親伝言板」発行
- ・東根市P：組織なし

第51回 日本PTA東北ブロック研究大会 南陽・東置賜大会 参加しました！

視察研修

令和元年9月7日・8日



★★ 第2分科会に参加しました ★★

初日は、東北6県から参加したPTA会員が6つの分科会に分かれ、それぞれの会場で基調講演とパネルディスカッションを通して研修を深めました。

私は、家庭教育「ポジティブな心で子どもに向き合う」をテーマとした第2分科会へ参加し、長井市で住職をされている小野卓也氏の話をお聴きしました。子どもとのコミュニケーションの基本として、親がなりがちな「相手を尊重しないジャイアンタイプ」はダメ。「自分の意見を言えないのび太タイプ」もダメ。「相手の意見も自分の意見も大事にするしずちゃんタイプ」になってほしい。応用としては、ポジティブな言葉へ変換してみる。

疲れた → 頑張った・忙しい → 充実していると教えていただき、すぐに心の中で変換し「ほんと気分が違う」と感じました。

パネルディスカッションでは、「子どもも一人の人として大切に」「間違いは子どもに対しても素直に謝る」など、パネリストの方の子育ての想いを強く感じました。お話を聞き、子育てに正解はないけれど正しい方向に向かっていくことは自分次第で変えていけると思いました。

講演の最後に子どもと一緒に過ごせるのはあと何年？と質問され、改めて考えると私の子育てもあと数年。今の時間がかげがえなく、貴重な時間だと実感し子どもを益々愛おしく思えてきました。

このような盛大な大会へ参加させていただき、新たな気づきが沢山ありました。実行委員の皆様企画運営ありがとうございました。

西村山PTA：最上 恵



★★ 全体会に参加しました ★★

二日目、全体会の記念講演では、「デヴィ夫人」ことデヴィ・スカルノ氏が「あふれる愛が子どもたちの未来をつくる」と題してお話されました。



幼い頃の貧しさや戦争、また、娘さんを一人で育てた経験の中で、人の3倍努力し歩んでこられたそうです。デヴィ夫人は、「人生は闘い」と自分に限界を作らず様々なことに挑戦することの大切さ、子どもたちに愛情を注ぎ沢山の経験をさせてあげること、そして、自信を持たせてあげることの大切さを教えてくださいました。

「花に水が必要なように、子どもには親の愛情が必要だ」の言葉がとても印象的で、改めて子どもへの接し方を考えさせてもらいました。「親力」を養う良い機会となる素晴らしい講演でした。

西置賜地区PTA：岩田文代



令和になり最初の日本PTA東北ブロック研究大会が、南陽市・高畠町・川西町を会場に行われました。一市二町にまたがるため、それぞれの会場の問題点や細かい修正点を確認しながらの打ち合わせ、また、大きい大会のため全体像が掴めない中での打ち合わせはとても苦労しました。大会開催まで本当に不安でしたが、当日は天候にも恵まれ多くの参加者をお迎えできました。これも、保護者の皆様はじめ、学校や地域の方々の協力の賜物と感謝申し上げます。

大会準備運営の中で感じたことは、多くのスタッフに協力いただく中で、「情報を共有すること」「全体を把握すること」がとても大切だと思いました。

大会スローガンの「つなげよう 家庭・学校・地域を 親も成長しよう 子どもと共に～ふるさとは国の本なり、育もう 地域の宝を～」にあるとおり、地域、学校、そして保護者が南陽・東置賜大会に向けて一つになって協力できたことは、本当に素晴らしいことだと改めて実感し、そのスタッフとして準備から関わったことは大変貴重な経験でした。

お忙しい中ご協力いただいたすべての皆様に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

東置賜地区 PTA：佐藤久美子



各地区PTA母親委員会の活動の様子



・・・酒田飽海PTA連合会 母親委員会主催 講演会・・・

7月4日(木)、本間俊美氏(読書アドバイザー 元山形県家庭教育アドバイザー)をお迎えし、「家族みんなで楽しむ家読」と題し、読書を通しての家庭内コミュニケーションについてお話を伺いました。

本を読むことは大切。分かっているけど、子どもたちも大きくなってきた今、どうすればいいかわからない。そんな気持ちに、先生は「読書はもっと自由でいい!」とおっしゃいます。全部読まなくても、真面目でなくても、マンガ本も、教科書だって読書。読み聞かせ以外にも、本の内容を家族の話題に取り入れてコミュニケーションツールとして、子どもと一緒に本を楽しもう!というお話でした。

「絵本ほどシンプルで分かりやすく深いものはない。」当日もたくさんの絵本を実際にご紹介いただきました。大人はすぐ文字を追ってしまうのですが、子どもは純粋に絵を感じ取ります。思春期を迎えた子どもたちとも、本を通して小さいコミュニケーションの積み重ねをすることで、いざというときに向き合えるのだといいます。

「読書」はストレス解消にも役立つと言われています。先生のお話を伺い、肩の力を抜いて子どもたちと一緒に本とふれあっていきたいと思いました。



酒田飽海 PTA：小室智恵子

・・・最上地区PTA協議会 母親委員会研修会・・・



6月1日(土)県教育委員会主催の「家庭教育支援フォーラム」「最上地区PTA協議会母親委員全員研修会」を開催しました。「子供の望ましい生活習慣づくりをめざして」と題して、山形県家庭教育アドバイザーの金澤和子氏より講演・演習をしていただきました。講演後はグループワークを中心に各家庭の子どもの様子や心配事などを出し合いました。同じような悩みにみんなで解決策を考え、とても積極的な情報交換をすることが出来ました。

最上地区 PTA：井上美和

第 67 回 日本PTA全国研究大会 兵庫大会 8/23・24

つなげよう「いのち」のバトン 次代を生き抜く子どもたちへ
～地域とともに育む力 兵庫から～

初日は、「第1分科会〈家庭教育〉今日の家庭教育が果たすべき役割」に参加しました。

基調講演で講師の仲島正教氏は、

- ・子どもには今と未来が大切。大人は子どもの未来の応援団、勝った負けたではなく頑張った姿を褒めることの大切さ。
- ・自己肯定感・自尊感情は自分では育てられない、周りの愛や声が育てる。
- ・優しくされたことのない人は優しくできない。子どもの心の銀行にたくさんのお金の貯金を。
- ・どんなに忙しい時でも「10秒の愛」
- ・先生や親同士がつながれば子どももつながる。等



体験談を交えながらお話してくださり、時には涙を流し、時には爆笑しながらも、家庭教育の大切さや親の在り方を学ばせていただいた時間となりました。

最後に仲島先生から、「帰宅したら、子ども、旦那さん、奥さんを抱きしめて“あなたがいてくれてよかった”と伝えましょう」と宿題を出されました。さすがに主人を抱きしめるのは気恥ずかしく伝えるだけになってしまいましたが、子どもたちには嫌がられるまで抱きしめ伝えたとこです。ぜひ皆さんも伝えてみてください。

二日目の全体会は、「子育ては、心理学でラクになる」という演題でメンタリストのDaigo氏の記念講演でした。「私は結婚も子育ての経験もないのに…」と話し始められ、どんな話が聞けるのかと最初は戸惑いましたが、ご自身の幼少時代のいじめられた経験を通して、自分が変わることによって周りを変えることができたこと等、ご自身が日々学んだ知識とデータをもとにしたお話や、参加者の質問に対する回答はとても説得力があり、多くの学びを得ることができました。

- ・子どもの性格は50%が遺伝子で決まり、44%が周囲の環境・友達、親の育て方の与える影響は6%
- ・しかり方に関して、行動をストレートに怒るのは良いが、「誰が学費を払っていると思っているんだ」というような罪悪感に訴えるような怒り方はしてはいけません。
- ・習慣にしたいことは20秒早く手を付けられるようにする。(してほしくないことは20秒手間がかかるようにする)
- ・集中力を鍛えるには木登りやボルダリングが良く、Daigo氏が制作した脳トレアプリも紹介されました。

今回学んだことを子育てに活かすとともに、今後の様々な活動の中で皆さんと情報を共有し活かせるよう努めたいと思います。

山形市PTA：高見佳澄

母親委員研修：「家庭でできるいじめ対策ハンドブック」を用いての研修

令和2年1月19日(日)

講師：佐藤博之氏(県P連会長)



PTA活動を通して、親と先生と地域で様々な関わりを通して子どもたちと積極的に関わって子育てをしていくことは、とても大切な事。日頃、子どもたちと目を見て話す・抱きしめてあげる等、目をかけ、手をかけてあげられているかを考える良い機会になりました。子どもとの何気ない会話、生活の中から、子どもたちが何を考え感じているのかを私たち親がどのくらい把握できているのだろうか。子育ては、その時にしか楽しめません。

- ・孤育て…孤独な子育てにならない様に、楽しいことや様々な情報を分け合いながら子育てをする。親が教えることのできない事を地域の方々が教えてくれる。地域の方と共に子育てをしましょう。
- ・己育て…スキルアップ出来るように、縁を育み、自己意識を高く持ち、子育てを楽しみながら、子どもと向き合い子どもと共に成長していく。

ハンドブックには、私たち親が、そういった関わりを大切にしながらいじめ対策にもっと関心を持つことの大切さや家庭で出来る事がわかりやすく説明されていました。いじめをなくすために、大人ができる事やるべき事は何なのか？子どもたちが、いじめによって自らの命を絶つ様な悲劇をなくす為にも、この様な研修会はとても大事だと思います。

佐藤博之氏の研修を受けた事で、より親と子どものつながり、学校、地域とのつながりがいかに大切かを知る事ができました。ありがとうございました。

上市市PTA：佐藤千賀子

編集委員

山形市：高見佳澄

鶴岡市：菅原美穂 / 上市市：佐藤千賀子

天童：東村山・秋保僚子 / 西村山：最上 恵

あとがき

子どもに育てられ、子どもに導かれ、多くの方々との出会いを楽しみ、感謝しながら「母親委員会の存在意義」に思いを巡らせた一年でした。時代に合わせた活動が今後も続いていくことを願っています。

鶴岡市PTA：菅原美穂